バリアフリー改修工事に伴う固定資産税減額申告書

令和 年 月 日

邑南町長 様

	住所 (所在地)		
申 請 者 (納税義務者)	氏 名 (名 称)		(※)
		(※)身元確認書類(免許証等)を提示してください	
	個人番号 又は法人番号		1 1

邑南町税条例附則第10条の3第7項の規定に基づき、次の家屋に係るバリアフリー改修工事に伴う減額措置の適用について、事実を証する書類を添えて申告します。

	所在地番							家屋番号		
家屋の	種類(用途)			構造				持家の種類	□一戸を □マンション	
	床面積				m²	居住用 床面積				m²
内 訳	建築年月日			登記年月日				改修工事 完了年月日		
	\$ 11 mm 11 . 1 . 1 fe		全体工事費用			円 (バリアフリ	リー改	修工事以外のコ	匚事を含む	<u>t</u> s)
	バリアフリー改修		バリアフリー改修	工事費用		円-	一給	付·補助金額		円
	工事費用				=	自己負担額	額		円	
3か月以内に提出 改修工事をできなかった理由 必要とした方	※工事完了日から3か 氏名 (生年月日) 住所	(する区分	□6.	5歳以上の高齢 ² 2介護、要支援		害者
世帯区分等状況確認 本申告書記載の内容を審査するに当たり、世帯区分、現住所、介護保険給付及び助成制度の										
利用状況等を固定資産税担当課が各業務担当課へ照会することに 同意します ・ 同意しません										
・										
*添付書類及び記入方法については、裏面に記載しております。										

*下記整理欄は記入する必要がありません。

	番号確認 □個人番号カード	□通知カード□住民票 □その)	確認
	身元確認	□免許証 □パスポート □その	他()	者
整	受付	诗確認	処	理	受 付	
理			令和 年 月 日			
欄	□ 改修工事完了から3カ □ 記載内容に漏れがな □ 必要な添付書類が揃	V)	確認者	担当者	確認者	受付者

添付書類(地方税法施行規則附則第7条第8項の規定に基づく書類)

- 納税義務者の住民票の写し
- 改修工事に係る明細書(当該改修工事の内容及び費用の確認ができるもの)
- 改修工事箇所の写真
- 領収書(改修工事費用を支払ったことを確認することができるもの)
- 住宅改造補助金交付及び介護保険給付金の決定(確定)通知書等の写し
- 該当する区分に応じた書類
 - ・65歳以上の高齢者 …… 住民票の写し
 - ・要介護及び要支援認定者 …… 介護保険の被保険者証の写し

記入方法

- 1 申告者(納税義務者)の欄には、バリアフリー改修工事に伴う減額措置の適用を受ける家屋の納税義務者の住所又は所在地及び氏名又は名称を記入してください。
- 2 家屋の内訳欄には、所在地番,家屋番号,種類(用途),構造,持家の種類,床面積,居住 用床面積,建築年月日,登記年月日,改修工事完了年月日,改修工事費用をそれぞれ記入し てください。

※記入例

	· ·						
	所在地番	邑南町○○ △△△△番□□			家屋番号	$\Diamond - \Diamond \Diamond$	
家屋の内訳	種類(用途)	専用住宅	構造	木造	持家の種類	☑一戸建 □マンション	
	床面積	115	5. 5 m²	居住用 床面積	115. 5		
	建築年月日	S56. 12. 20	登記年月日	S56. 12. 25	改修工事 完了年月日	H19. 4. 10	
	バリアフリー改修 工事費用	全体工事費用	1, 500, 000	円(バリアフリーថ	女修工事以外のエ	事を含む)	
			=	自己負担額	420, 000	円	

3 改修工事を必要とした方の欄には、申告要件を満たす方(改修工事完了後の1月1日において65歳以上の者,要介護又は要支援の認定を受けている者,障害者等)の氏名,該当する区分,住所をそれぞれ記入してください。

※記入例

改修工事を必要とした方		氏名 (生年月日)	邑南 太郎 (昭和17年1月1日)		該当する区分	☑65歳以上の高齢者 □障害者 □要介護、要支援認定者
	住所	邑南町〇〇	△△△△番♭	也		

世带区分等状况確認

本申告書記載の内容を審査するに当たり、世帯区分、現住所、介護保険給付及び助成制度の利用状況等を固定資産税担当課が各業務担当課へ照会することに

同意します・ 同意しません ※該当するものを〇で囲んでください。同意されない場合、審査を行う上で添付書類以外の書 類が必要となった際、その都度提出していただくことになります。